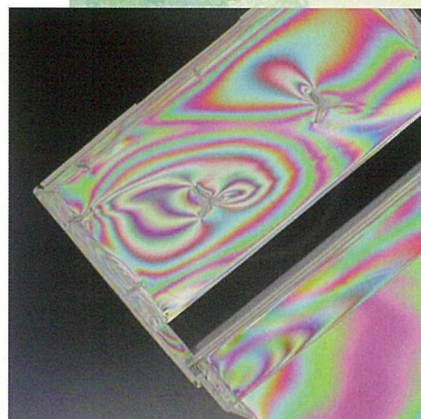


歪検査ガイド luceo strain meter

円偏光法

観察例：樹脂の「流動状態」



円偏光法では、視野全体が暗く黒色に見えます。観察物を入れると、歪がある部分は明るく白色に見え、歪がない部分は視野全体と同じように暗く黒色に見えます。歪量がより強くなると白色が青、緑、赤などの色に変化します。

また、歪の主応力方向の影響を受けずに歪を検出できますので、サンプルを回転させても歪の分布パターンが変わりません。この点が円偏光法の特に優れた特長です。

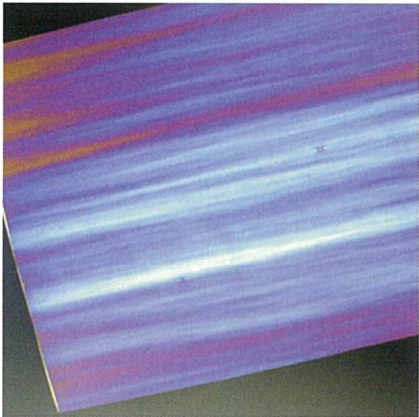


株式会社 **ルケオ**

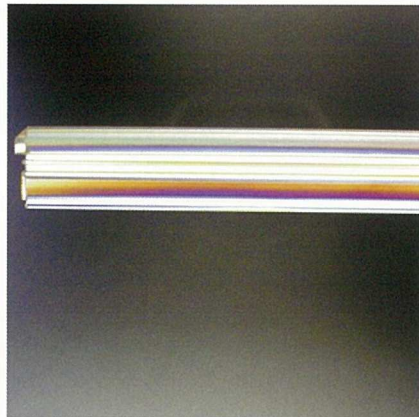
〒173-0024 東京都板橋区大山金井町30-9
TEL 03-3956-4111(代)FAX03-3956-2335

円偏光法

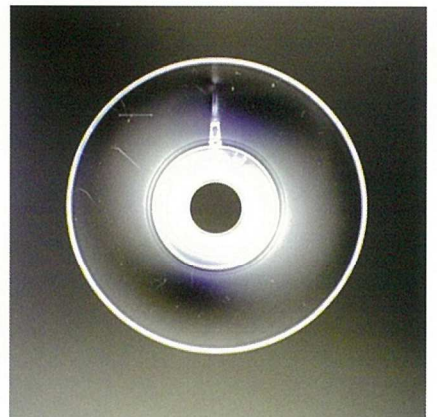
観察例：フィルムの「ムラ」



観察例：「加工歪」

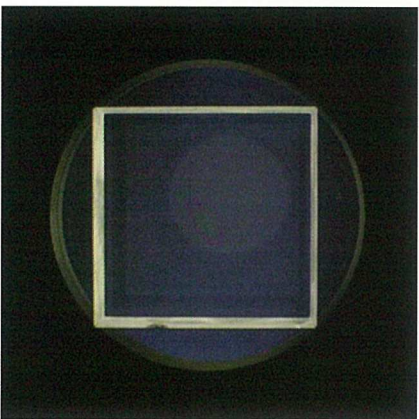


観察例：成型品の「歪」、「キズ」



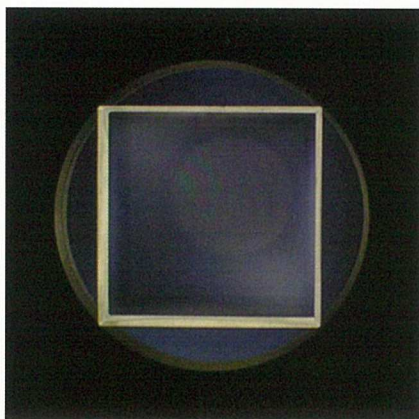
ほとんど歪の無いサンプル

サンプル全体が視野と同じように暗く黒く見えます。



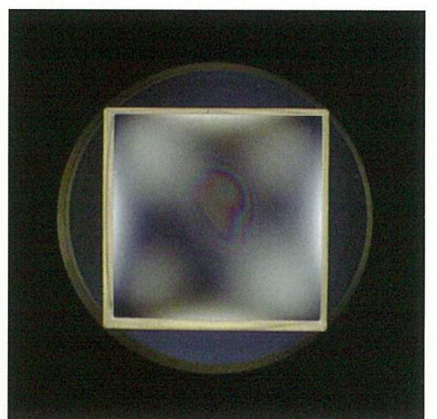
歪量の小さいサンプル

サンプルの歪のある部分だけが白色に見えます。



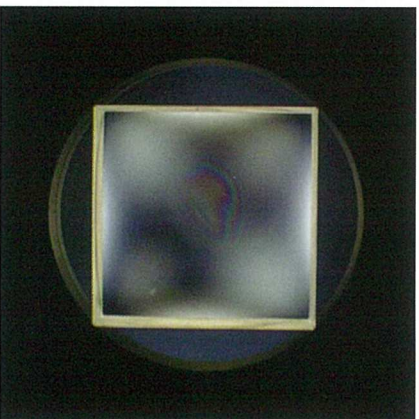
歪量の大きいサンプル

サンプルの歪のある部分だけが白色に見え、歪量の小さいサンプルより白色部分が広く、明るく見えます。



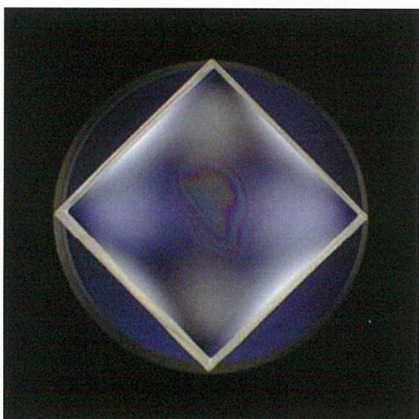
サンプル基準位置／回転 0°

ポラライザー、アナライザーの透過軸方向のX部分は黒くならないので、歪のある部分は白色に変化します。



サンプルを 45° 回転

サンプルが回転してもサンプル内の歪のパターンは変わりません。



サンプルを 90° 回転

サンプル内の歪のパターンは、 0° 、 45° と同じで変わりません。

